



快適に、豊かに

ひと・モノを快適に運び、
毎日の生活と、社会、地域を豊かに



2025年12月にリニューアルオープンした九州道 広川SA
(上)店舗外観。筑後地方の伝統工芸である「八女手すき和紙」
などをイメージした色合いを表現しています。



いつでも、誰もが使いやすい高速道路へ

ETC・料金

料金・交通情報



ETC専用化等による料金所のキャッシュレス化・タッチレス化

ETC専用料金所

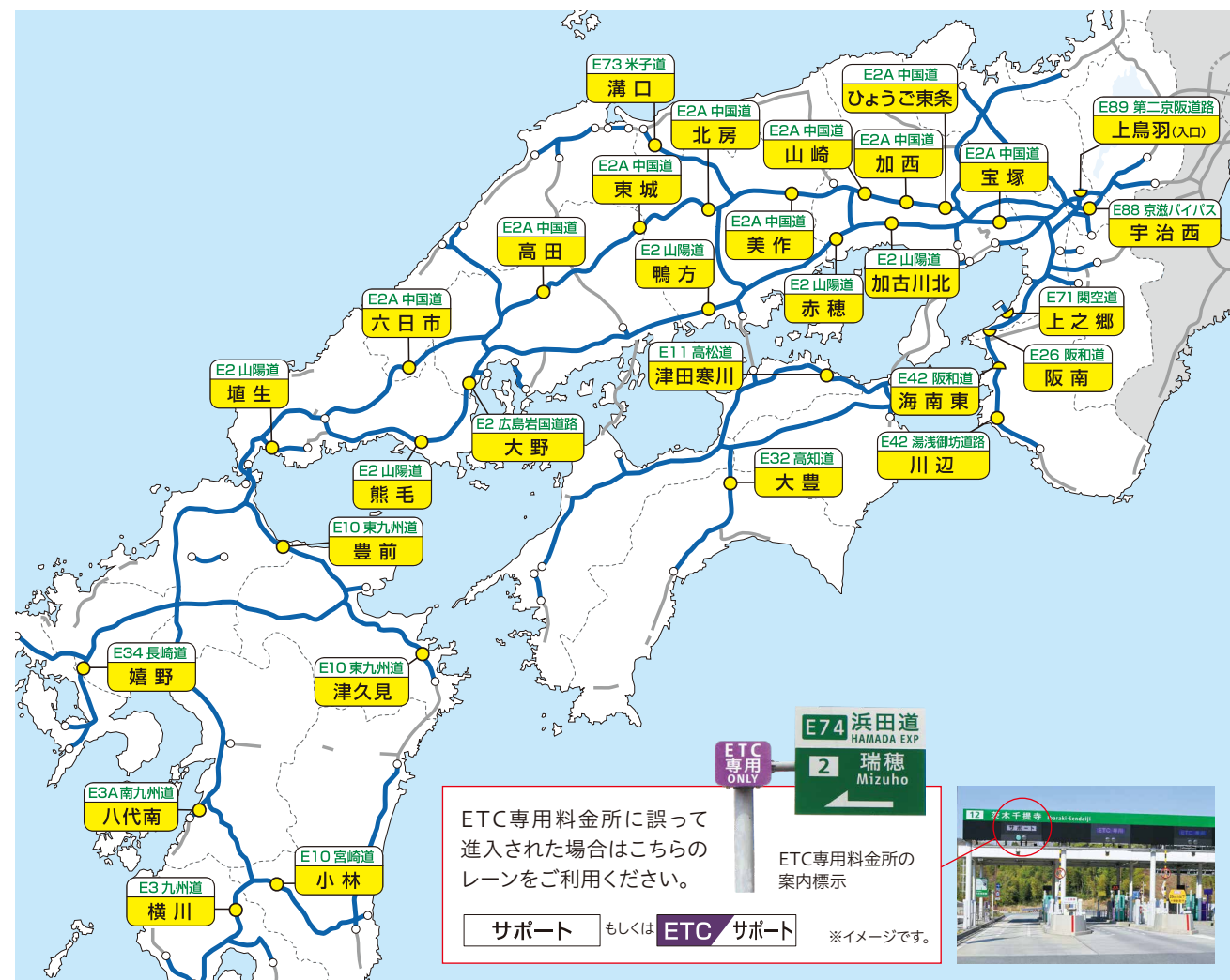


新しいモビリティ社会に向け、お客さま・社会のニーズに適応した料金収受を目指し、ETC専用化等の取り組みによるキャッシュレス化・タッチレス化を推進します。

ETC専用化等の導入目的

- 空いている時間帯や経路の割引など柔軟な料金設定が容易となり、混雑を緩和してお客さまの生産性向上に寄与
- 料金所係員の人員確保が困難になる中、ETCを活用することにより料金所の機能を維持
- お客さまと料金所係員の接触機会を減らし、感染症リスクを軽減 等

▶ 2026年春から新たに30料金所がETC専用料金所に



全体443料金所のうち、2026年4月末時点では94料金所がETC専用料金所となっております。

ETCの普及促進のための取り組み

●ETC車載器購入助成キャンペーンの実施



●ETCパーソナルカード

クレジットカードをお持ちでない方でもデポジット(保証金)を預託いただくことで、ETCカードをご利用いただけます。

ETCパーソナルカード



深夜割引の見直し

一割引適用待ちの車両滞留の解消やトラック運転者の負担軽減—

深夜割引変更特設サイト



料金所前で深夜割引適用待ちをする車両の滞留や運転者等の労働環境悪化などの課題を踏まえ、以下のとおり深夜割引を見直します。変更時期は深夜割引変更特設サイトをご確認ください。

深夜割引変更のポイント

POINT1	POINT2	POINT3
深夜割引の時間帯に 走行した分のみ割引	深夜割引の時間帯が 3時間拡大(22時～翌5時)	後日還元型の 割引制度へ変更

見直し後の深夜割引においては、割引時間帯の走行距離を増大させることを目的とした「速度超過」などの無謀な運転を抑止し、安全・安心に高速道路をご利用いただくために、車種区分等に応じて割引時間帯の走行距離に上限を設定します。

車種区分等	上限距離
軽自動車等／普通車／ 中型車／乗合型自動車	1時間あたり 105km
大型車／特大車(乗合型自動車以外)	1時間あたり 90km

割引適用時間帯における利用時間が4時間を超える場合、休憩時間30分相当の距離を上限距離から減じます。詳細は深夜割引変更特設サイトをご確認ください。

また、割引見直しによる長距離利用の通行料金負担増や新たな交通集中を抑制することを目的に、激変緩和措置を実施します。

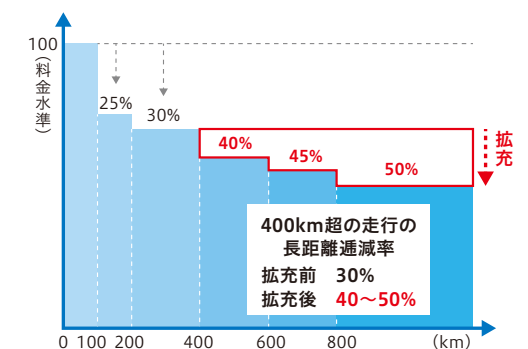
深夜割引見直し後の激変緩和措置

1. 深夜割引適用車両のうち1,000km以上走行した場合、1,000kmを超える部分を割引対象走行分に追加
2. 22時台に高速道路を流出した車両については、22時台に走行した分の還元率を最大20%

深夜割引の変更による長距離利用の通行料金負担増加を軽減することを目的として、400km超の走行を対象に、長距離通減制を拡充します。

長距離通減制とは

NEXCO3社が管理する高速道路のうち対距離料金を適用する高速自動車国道の利用にあたり、利用距離に応じて通行料金を通減する制度です。(対距離料金を適用しない高速自動車国道、一般有料道路、他の高速道路会社が管理する高速道路は対象外であり、長距離通減の対象距離には含まれません。)



深夜割引変更後の通行料金と、深夜割引時間帯の走行距離等の入力に基づき算出する深夜割引還元額の概算額は、当社ウェブサイト内の「深夜割引変更後の料金シミュレーション」で調べることができます。

深夜割引シミュレーションサイト



ドライブ旅行の促進に向けて —ドライブパスの魅力と利便性の向上—

ETC車限定で対象エリアの高速道路が定額で乗り放題となる「ドライブパス(周遊パス)」のより一層の利用拡大を図るため、自治体と連携したプランや観光施設等のチケットとのセットプランなど魅力的なプランの拡充に取り組んでいます。

ドライブパスの
申込専用サイト
「みち旅」



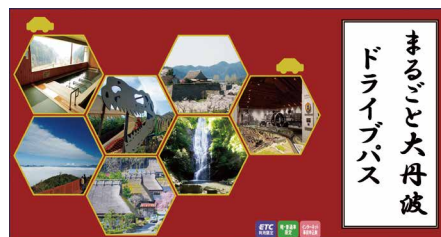
▶実施中のドライブパス (2026年4月時点)



責任者の声 大丹波の魅力をつなぐドライブパス

2025年4月から、「まるごと大丹波(だいたんば)ドライブパス」を販売しています。「大丹波」とは、旧丹波国に属していた京都府と兵庫県にまたがる7つの市町からなる地域で、歴史・景観・グルメなど多様な観光資源を有する、京阪神圏からの手軽なドライブ旅行に最適な地域です。本ドライブパスは、大丹波エリア内の広域観光を推進する大丹波観光推進委員会の目的と、地域の発展に貢献するNEXCO西日本のグループ理念が合致し実現しました。また、2025年5月から有馬温泉の観光施設と連携したドライブパスも販売しています。旅程の中で日本有数の温泉地で一息つける魅力的な企画となっています。今後も、地域や社会からの期待に応え、お客さまに喜ばれるドライブパスの販売に取り組んでまいります。

関西支社 保全サービス事業部 料金課 課長 中川 智之



利便性向上・観光需要平準化に向けた取り組み

▶会員制の導入

申込専用サイト「みち旅」でのドライブパス申し込み時のお客さまの負担を軽減させるため、2025年度より会員制を導入しました。ドライブパスの申し込みに必要な連絡先などの情報を予め会員情報としてご登録いただくことで、申し込み時の都度入力を省略することができます。



▶高速道路周遊パス検索サイト

全国各地でご利用いただける周遊パスを各種条件や対象エリアから検索できるようにし、アクセシビリティの向上を図っています。



▶平日のみの利用で販売価格の15%のポイントを追加付与

休日に集中する観光需要の分散・平準化を図るため、ドライブパスを平日のみの利用期間でお申し込みのうえご利用いただいた場合、販売価格の15%のマイレージポイントを追加付与するキャンペーンを実施しています。

観光スポット×高速道路網

お国じまんデジタルラリー

各県が選ぶ「ごじまん」の観光地やSA・PAに設置したGO!JIMANスタンプを集めて応募すると、抽選でご当地産品等のプレゼントがもらえる「お国じまんデジタルラリー」。高速道路網を活用した地域への誘客促進・観光振興を行っています。



西日本の
お城じまんスポットを
巡るコースが登場!

キャンペーン公式サイト



観光需要平準化や交通分散に向けて

▶休日割引

—交通混雑期等を除いて適用—

観光需要の平準化や繁忙期における交通の分散の観点から、国土交通省との検討を踏まえて、ゴールデンウィーク・お盆・シルバーウィーク・年末年始、3連休には休日割引を適用しないこととしています。引き続き、高速道路の渋滞対策にご理解・ご協力をお願いします。

以下の日程は休日割引が適用されません

- 3連休
- シルバーウィーク
- ゴールデンウィーク
- 年末年始
- お盆

詳しい日付はこちら



「通勤パス」の試行(社会実験)

—多様化する勤務体系への対応と通勤時間帯の混雑解消—

高速道路では、高速道路に並行する一般道における通勤時間帯の混雑解消のため「平日朝夕割引」を実施していますが、多様化する勤務体系への対応や通勤時間帯に混雑している高速道路における交通分散の対応が必要となっています。そのため、2024年4月より、当社管内では香川県・長崎県の一部区間で「通勤パス」の社会実験を実施しています。2026年度は販売価格を見直して継続することとしており、平日朝夕割引の見直しに向けた試行・検証を行ってまいります。

通勤パスとは

事前に車種・区間を指定してお申し込みいただくと、曜日や時間帯にかかわらず、月初から月末までの1ヵ月間、1日3回までの走行に限り、指定区間内の料金を最大50%割引の通行料金でご利用いただける割引です。



すべての皆さまに、快適な休憩施設を

SA・PA



SA・PA情報



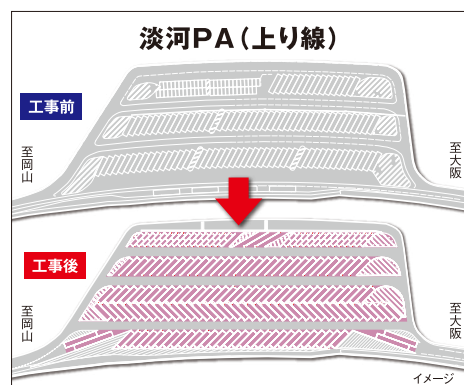
駐車場の混雑対策 ー物流事業者への支援ー

▶大型車の駐車マスの拡充

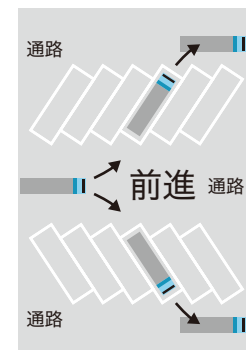
大型車の長時間駐車により、深夜帯を中心に大型車の駐車マスが不足し、混雑が発生していることから、大型車の駐車マスを拡充し、休憩施設の機能向上に取り組んでいます。

山陽道 淡河PA (上) 駐車マスのレイアウト変更

V字駐車マスへの変更により通路1本分を省スペース化などを行い、大型車マス増設のスペースを確保。



単列駐車マス



V字駐車マス



大型車駐車マス拡充実績

- 2025年度 117台
 - 2020年度以降累積 1,200台以上
- ※兼用マス・ダブル連結トラックマスを含む

▶深刻なドライバー不足に対応する物流事業者への支援 ダブル連結トラック駐車マスの整備

1台で通常的大型トラック2台分の輸送が可能な「ダブル連結トラック」は、2019年8月に運行区間が東北道から九州道まで拡大されて以降、特殊車両通行の許可台数が増加し、物流事業者のニーズ等を踏まえ、通行可能路線が順次拡大しています。当社ではダブル連結トラックの休憩機会確保のため、駐車マスの整備を進めています。



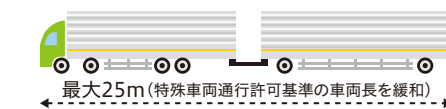
整備箇所の詳細は当社ウェブサイトをご覧ください。

25mダブル連結トラックとは

- 通常的大型トラック(10tトラック)



- ダブル連結トラック(1台で2台分の輸送が可能)



ダブル連結トラック駐車マス(中国道 七塚原SA(下))

ダブル連結トラック駐車マス整備実績

- 2025年度末累計 73カ所 99台

担当者の声

引き続き駐車場の混雑対策に取り組めます

大型車の駐車マス不足への対策について、2018年度から継続的に取り組んできました。近年、2024年問題に加え、物流ニーズの増加に伴う車両の大型化・多様化が進むなど、SA・PAに求められる機能は大きく変化しています。こうした状況を踏まえ、当社ではトレーラーやダブル連結トラックなど様々な車種に応じた駐車マスの整備も進めています。日本の生活に欠かすことのできない物流を支える企業の一員として、今後も関係機関と連携し、利用しやすい休憩施設を目指していきます。

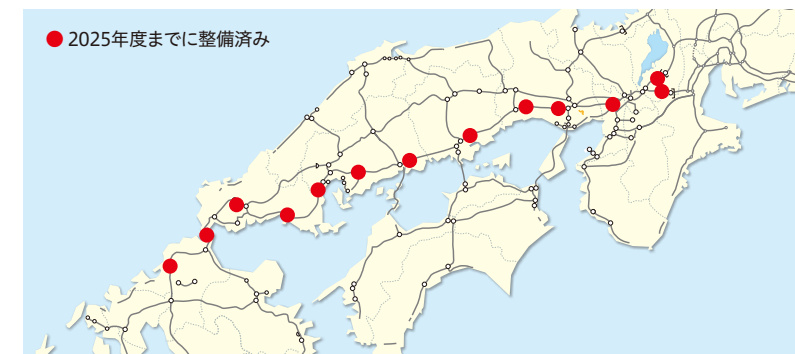
保全サービス事業本部 保全サービス事業部 交通課 鈴木 裕司



▶より確実な“休憩”機会を確保する実証実験

大型車の短時間限定駐車マス 西日本管内は26カ所へ拡大

NEXCO東日本、NEXCO中日本と連携して実施している「大型車の短時間限定駐車マス」の実証実験により、短時間(60分以内)の利用台数の増加、駐車マスの回転率向上などの効果が確認できたため、整備箇所を拡大しています。また、実証実験では、深夜・朝方を中心に60分以上駐車する車両が約30%確認されました。適正な利用を促すため、ポスター・路面表示などお客さまへ周知しています。



整備箇所の詳細は当社ウェブサイトをご覧ください。



黄色の駐車マスが短時間限定駐車マス(九州道 古賀SA(下))



山陽道 三木SA(下)

▶新たな駐車形態を試行

出発時間限定 大型車3列駐車マス

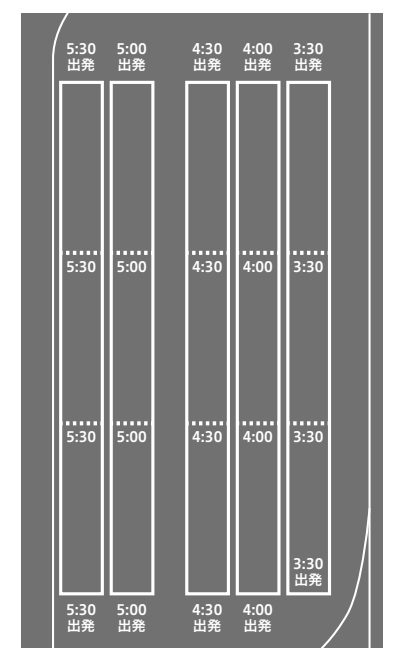
大型車駐車マス拡充の取り組みを進めていますが、休憩施設の敷地は限られており、単純な駐車マスの増設やレイアウト変更には限界があります。そのため、新たな駐車形態として、中国道 鹿野SA(下)において、2024年8月から2025年5月にかけて「出発時間指定 大型車3列駐車マス」を試行しました。試行結果は、山陽道 佐波川SA(下)にて予定している複数縦列式駐車場の整備に役立てていきます。

複数縦列式(コラム式)駐車場とは

ドイツのアウトバーンなどにおいて採用実績がある駐車方式。出発時間別に縦列駐車するレーンを設けることで、駐車マスを効率的に配備することを目的とした方式です。休憩施設を出発する時刻毎に縦列駐車させる駐車制御が必要であり、ドイツでは駐車チケットの発券や、駐車マスの頭上に出発時間を表示するなど、ドライバーに駐車方法を伝える制御をとっています。



ドイツ(Jura-West)のコラム式駐車場(右の写真は、このマスの出発時間を示す表示)



出発指定時間を各マスに標示(中国道 鹿野SA(下))

SA・PAのリニューアルによる魅力の進化

▶九州道 広川SA(上) リニューアルオープン

—筑後の恵みと広川の風情がここに集結! 筑後の魅力がギュッと詰まった新空間に—

2025年12月にリニューアルオープンした広川SA(上)は、外壁デザインに和風模様(和柄)を施すことで慣れ親しみのある、落ち着いたデザインとしています。また、色味は筑後地方の伝統工芸である「八女手すき和紙」などをイメージした淡い紫色を施すことで、地域らしさを演出しています。



新・トイレ棟

新・店舗棟

担当者の声

デザイン刷新と安全に配慮した整備

九州道 広川SA(上)は特殊な敷地形状により、店舗棟やトイレ棟の視認性が良くないエリアでしたが、店舗の外壁デザインへの和風模様(和柄)の採用や、シンボルを加えることで、どこから見てもわかりやすく地域に親しみのあるデザインとしました。また、工事期間中は店舗やトイレを仮設で運用する必要があり、お客さまや従業員の負担を最小限に抑えるため、照明の増設や段差解消、案内表示の工夫を重ね、当社のグループ理念である「安全・安心」を最優先に施工しました。多くの関係者が関わる中で施工ヤード調整や工程管理に苦慮しましたが、受発注者及びテナントと密に連携し、課題を一つずつ解決することで無事オープンを迎えることができました。

九州支社 久留米高速道路事務所 施設第二課 坂口 源太



新・店舗棟のポイント

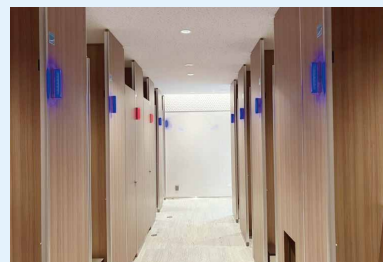
店舗は、フードコートとショッピングコーナーの間に柱がなく、店内を見渡しやすいレイアウトになっています。内装には、筑後地方の伝統工芸品「久留米^{くるとみ}餅」や「大川^{おおかわ}組子」などの装飾を施すことで、地域の魅力発信に加え、地域の皆さまから親しみや愛着を感じていただけるデザインとなっています。

ショッピングコーナー

売り場面積は約1.6倍に拡大し、福岡・熊本の人気のお土産や筑後地方の伝統工芸品などを多数取り揃えています。

新・トイレ棟のポイント

当社では、お客さまに快適で安心してご利用いただけるトイレを目指してリニューアルを進めており、広川SA(上)でもバリアフリー化を行うとともに、自然光を取り込んだ明るいトイレにリニューアルしました。



トイレのブースごとの案内ランプで、空きブースを分かりやすくご案内



和風模様(和柄)を取り入れた内装



自然光を取り込み明るいトイレに



女性トイレへパウダーコーナーを設置



バリアフリートイレの導入



ショッピングコーナー



「久留米餅」と「八女すだれ」



地域の工芸品・名産品を販売



「久留米餅」と「大川組子」

フードコート

座席数は65席から約1.7倍の110席に増やし、より多くのお客さまにご利用いただけるようになりました。地元の名産品を使用したメニューを揃え、フードコート内には地元工芸品の「八女提灯」を装飾しました。



フードコート



「焼きそばの想夫恋」店内

GRAND OPEN

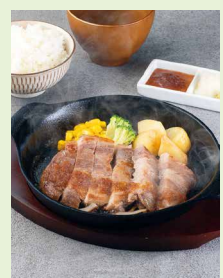
2026年4月には大分県日田市発祥の「焼きそばの想夫恋」を新たに迎え、グランドオープンしました。全国の高速道路では初出店! 更にパワーアップした店舗へと生まれ変わりました。



焼きそば



八女提灯



八女もち豚ステーキ鉄板



筑後ごろし麺

NEXCO西日本は、
お手洗いの **4C + 1E** への
改修を進めています

Clear(明るく)
少ない電力で明るく開放感ある空間
Clean(清潔で)
汚れにくく乾式清掃ができる床材
Comfortable(快適に)
バリアフリー対応・空調設備
Charming(魅力的に)
パウダーコーナーの整備



Ecology(環境負荷の軽減)
LED照明(約50%省エネ)や
節水型便器(約75%節水)の採用

シャワーステーションの充実



シャワーステーション設置箇所

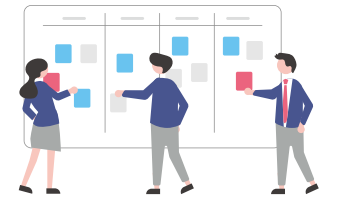
当社では、高速道路をご利用されるお客さまの疲労回復、くつろぎの提供として、13カ所のSA・PAにシャワーステーションを設置しています。

全てのシャワーステーションには、コインシャワーとコインランドリーがあります。長距離運転されるお客さまが、高速道路をご利用いただきながら手軽にリフレッシュできる場所を提供しています。

SA・PAを通した地域の魅力の発信

▶地域の学校と連携したオリジナル商品・メニューの開発

当社グループでは、地域の学校・企業と連携し、SA・PAで販売する商品・メニューの開発を通した教育機会の提供を行っています。商品開発により次世代の育成に貢献するとともに、次世代が発掘した“地域の魅力”をSA・PAから発信することを通して、地域の魅力発信拠点としてのSA・PAの成長を目指しています。



九州道 宮原SA(上下線)では、熊本県立南陵高等学校の生徒が考案したコラボメニューを2022年から販売しています。2025年度は、「熊本の食材・特産品を使用したメニュー」をテーマに全25案の中から書類選考・プレゼンテーション審査会を経て、2品を販売しました。この取り組みは、地産地消の促進や、高校生が“食”を通じて地域を考えるきっかけとなっています。

●川渡り食堂の笑顔輝くトマトチキンカツカレー

熊本県産の「はちべえトマトピューレ」を使用したほのかな酸味を楽しめるカレーです。デコポン風味の爽やかな味わいのゼリも添えています。



▶「西イチグルメ決定戦」で地域の食材や特色をPR

「西イチグルメ決定戦」は、各SA・PAで地域の食材や特色を活かした「ご当地ならではのメニュー」を開発し、No.1を決める大会です。大会を通して地域の食文化や美味しさを発信することで、地域のPRに寄与します。

第10回を迎えた2025年度は、“新たな「肉」グルメ”をテーマに、当社グループ創立20周年を記念して、「至福の贅沢部門（価格制限なし）」と「究極のお値打ち部門（1,650円以下）」の2部門制で開催しました。

●至福の贅沢部門グランプリ

舞鶴若狭道 西紀SA(下)
奥丹波の華街懐石 里山御膳「花うらら」(1,680円)
里山「丹波」の『奥ゆかしさ』『華やかさ』『麗しさ』を表現した懐石料理。料理全体で里山「丹波」のまちを表現いたしました。



●究極のお値打ち部門グランプリ

名神高速道路 大津SA(下)
滋賀まるごとごちそう御膳(1,580円)
滋賀の大地が育んだ近江牛・げんさん豚・近江鶏を一堂に。滋賀の美味を贅沢に味わう特別なひとときを。



本選大会の様子(2026年2月26日・27日)

TOPICS

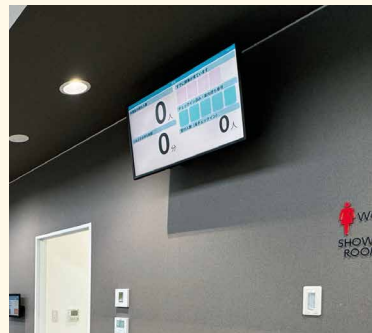
2026年3月、新名神 甲南PA(上下線)にシャワーステーションが新規オープン



甲南PA(上) シャワーステーション



上下線ともに個室のコインシャワーを6室(男性用4室、女性用2室)設置。快適にご利用いただけます。



待ち人数が表示されるモニターを設置。ショッピングなどで待ち時間を有効に使えます。



洗濯機・乾燥機も設置。洗った衣類をすぐに乾かして持ち帰れるのもポイント。旅先でも清潔で快適なスタイルをキープできます。



担当者の声

より快適な休憩へ シャワーステーション新設

お客さまからのご要望が高いシャワーステーションを新名神 甲南PA(上下線)に新設しました。24時間ご利用いただけるコインシャワー・コインランドリーで、休憩が更に便利になります。また、シャワーご利用時の鍵の受け渡しが必要なスマートキー予約設備(電子錠)を導入し、満室時は予約で行列を回避できるよう、お客さまがより一層ご利用しやすい施設としました。走行の合間に心身を整えに、ぜひお立ち寄りください。

関西支社 滋賀高速道路事務所 施設第一課 木村 優佑(左)
関西支社 建設事業部 施設建設課 清水 蒼太(右)

スマートフォンとタッチパネルで予約・解錠



担当者の声

西イチグルメ決定戦2025～SA・PA肉万博～

西イチグルメ決定戦は回を重ねるごとに、各店舗さまが開発されるメニューのレベルがどんどん高くなってきており、今回も趣向を凝らしたメニューが多く、非常にレベルの高い大会になったと思います。各テナントさま、関係者の皆さまのご尽力によりお客さまにも好評で、開催期間中(2025年9月～2026年3月)の販売数が23万食となり、多くのお客さまに喜んでいただきました。また今後も西イチグルメ決定戦をはじめ、お客さまにもテナントさまにも喜んでいただけるような販促企画を実施してまいります。

西日本高速道路サービス・ホールディングス(株) 店舗営業部 店舗支援課 森田 祐輔



地域づくりのプラットフォーマーを目指して

地域共創

地域共創



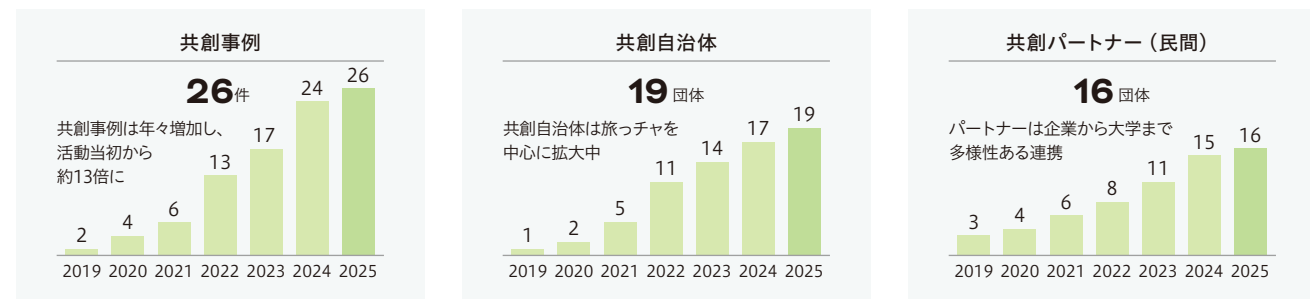
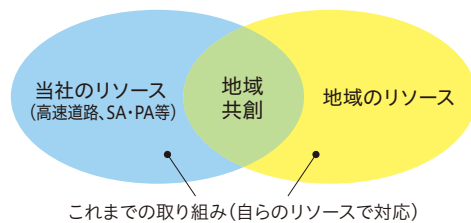
地域と共に、新しい価値を創る

地域共創活動は、地域と当社グループがお互いのリソースを活かし合い、持続可能な地域づくりにチャレンジする取り組みです。

当社グループはこれまで、高速道路等のインフラを活用し、地域の観光産業等の既存市場に対してその効果を発揮してきました。地域課題が多様化する今、既存市場に依存するだけではなく、人と地域をつなぐ力を持つインフラ企業として、地域主体による新たな価値創造を引き出す役割も担う必要があると考えています。

私たちは地域と共に、新しい価値を創る「地域づくりのプラットフォーマー」を目指し、挑戦しています。

お互いのノウハウ・リソースを持ち寄り、解決困難な地域課題に取り組むことで、新しい価値を創出



移動シーンを3つに分割したプロジェクト

当社グループの地域共創は都市と地域を結び付け、観光・文化・産業などの地域の価値を引き出すことを目的に活動しています。

地域の価値を最大化させるために、移動のシーンを『旅マエ・旅ナカ・旅サキ』に分割して、各シーンに合わせたプロジェクトに取り組んでいます。



旅マエ

九州各地と福岡都市圏を結ぶ架け橋に

産学官共創プロジェクト KSUちはやサービスエリア

九州産業大学、高橋(株) (福岡市東区千早に所在するガーデンズ千早の運営会社)と連携し、高速道路のサービスエリアを模したアンテナショップを学生が主体となって企画運営するプロジェクト『KSUちはやサービスエリア』をプロデュースしています。

2025年度は第2期として取り組みを継続し、学生が実店舗運営という実践的な経験を積み場を産学官共創で実現しています。第2期は、地域共創学部に加えて商学部・芸術学部も参画し、学部横断的プロジェクトへと進化。学生が地域と都市をつなぐ役割を担い、大分県佐伯市に加え、長崎県東彼杵町、熊本県津奈木町、福岡県朝倉市といった九州各地の魅力を福岡都市圏へ発信しています。今後も、地域と都市を結ぶ新たな交流機会の創出を目指します。



旅マエ

新たな関係創出



旅ナカ

新しいSA・PA等の利用体験

旅サキ

新しい地域価値創造

TOPICS

情報のサービスエリア第二弾! 町民主体で町のディープな

情報を発信する音声メディア「ソノギノオト」

ソノギノオト



長崎県東彼杵町を運営主体とし、町民をゲストに迎え、地域のディープな魅力を発信する音声メディア「ソノギノオト」を配信しています。本企画は、当社が高速道路ユーザーへの新たな地域情報発信方法として展開している「情報のサービスエリア第一弾」『関門ONAIR』の企画運営を通じて培ってきた知見やノウハウを活かし、番組全体のプロデュースを行っているものです。番組の企画立案から収録、編集、配信を、東彼杵町及び東彼杵町観光協会、東彼杵町でまちづくり分野の実績を持つ日々研究所(株)に所属する東彼杵町在住メンバーが連携して進めています。こうした取り組みは、単なる音声メディアの配信にとどまらず、制作プロセスにチームに関わることで、自身の考えや想いを的確に伝えるコミュニケーション力の向上につながるとともに、実際に町民の声を聞くことで町への愛着や誇りを再認識する機会を創出しています。



地域の声

発信することで気づく、地元の魅力と愛着



参加前はインタビューや音声編集などの経験がなく不安もありましたが、チームで企画会議や収録、編集等の音声メディア制作について議論を重ねる中で、音声だけで想いを伝える難しさや魅力を伝える話し方の重要性を学びました。また、地元で育ちながら知らなかった町の魅力や可能性を知ることができ、地域への愛着や誇りが深まる経験となりました。今後もソノギノオトで得た学びを活かし、地域の魅力発信に貢献していきたいです。

長崎県東彼杵町 産業振興課 中山 楓(ソノギノオト運営メンバー)

TOPICS

高速道路ネットワークと地域をデジタル技術で接続! MetaHighway プロジェクト

高速道路を移動のためのインフラではなく、人・地域・経済をつなぐ共創の基盤として捉え直します。当社の地域共創ノウハウを共創パートナー(MFAS社&KAORU社)の実装構造(デジタル)化支援により、地域の魅力、交流、情報発信、防災、意思決定をつなぐ「情報基盤」(地域ポータル)を構築することで、地域・都市・高速道路を横断する新しい情報流通基盤の創出を目指します。

高原メタSA



プロジェクトの第一弾として「高原メタサービスエリア:宮崎県高原町」を始動

高原町は、天孫降臨の地・初代神武天皇ご生誕の地とされ「日本発祥の地」としてPR強化を図っています。当社とも共創活動により関係人口や交流人口の誘客も進めており、2025年8月に総合ポータルサイト「高原メタサービスエリア」を開設しました。これは、地域資源を住民主体で発信できる仕組みを構築することで、地域に存する人や情報、資源等をつなぎ直し、観光・くらし・防災・地域情報をひとつの入口にしたものです。また現在、他の地域においても、人口減少や地域課題に向き合いながら、次世代へ接続可能な町をつなぐための新たな取り組み「AIの町」構想(プロジェクト第二弾)も進めています。

